

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 4 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|------------------------|
| 生産設計の仕事の内容を細かく知ることで |
| きました。現代の建物の大型化と複雑化によ |
| り建設が難しくなり時間がかかる。生産 |
| 設計は細かいレイアウトや設備の配置の問題 |
| も解決するのでも仕事のしやすさを知りました。 |
| 現場で加工した物の区画なども担当してま |
| りけが広い。生産設計が他の設計より目立 |
| ちて、責任が大きい。他の設計と |
| 同じくらい知らなかった。思いました。他 |
| にもくまなく知りたかった。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|----------------------|
| 設計図と別棟の施工の手順に必要不可欠な |
| というものがあつた。これは、専門工 |
| 事会社での施工の手順の会社が描くもので |
| 思っていた。また、生産設計という分野は |
| 設計と施工をつなぐ重要な役割であることが |
| わかった。生産設計の仕事の中で建築法規の |
| 分野はあまり直接的には関わらないが、設 |
| 計側とのやり取りをする上で必要になってく |
| るといふように、幅広い知識が必要だとわか |
| った。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|-----------------------|
| 生産設計の仕事について学ぶことで |
| 、生産設計を行う会社は設計図書に基づいて |
| 実際に建物を作るために必要な図面を作り |
| ま、不具合を修正するものだと知った。普段大 |
| 学の授業では意匠について設計したり学ん |
| でいることが多く、生産設計について学ぶ |
| は機会がなかった。生産設計で作成する図面は |
| 詳細かつわかりやすく描かなくてはならない |
| の厳格な役割のようだった。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|-----------------------|
| 生産設計とは、建築物を実際に建てるた |
| めに必要な施工図を作成する業務のことです。 |
| 施工図は建築工事を実際に行うために、設計 |
| 図に基づいて作成される詳細な図面です。施 |
| 工図は、意匠や構造・設備などの設計者、現 |
| 場の施工者などの意見を汲み取り、調整する |
| べきです。これらは、社会インフラを支え、 |
| 人々の生活の質を向上させる上で、幅広い建 |
| 築の知識が必要とする仕事だと思います。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今回は生産設計について学びました。生産設計は設計と施工の間をとりもつ分野で工事の流れも迅速にする利点があります。今まで授業で学んできた品質管理の問題など様々なトピックはこの生産設計とこの分野が生まれたこととかなり改善されたのではないかと感じました。また生産設計は様々な仕事があるため、図面や法規や現場など多くの分野に対して広く興味がある人が多いと感じました。またその分一人前になるまでの時間も長そうだと思います。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今回の授業では、施工の実際の事例を見ながら施工管理について分かりやすく知ることから学びました。かごダムの柱が実際見るとこの3つ2倍も地下にうまっこのことには驚きました。また、施工管理は意匠のことは全く携わらないのかと思いましたが、全然そんなことはないのだと思我明白了。意匠の人のイメージを施工管理の人が実際に形にしていくのだと思我明白了。そのような点ではデザインにも近い職なのだと思我明白了。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今回の講義で最も興味を抱いたことはアーキテクトとエンジニアの両方を兼ね備えたものが建物を建てるには必要であることである。私は先入観で生産設計の仕事は設計を専ら掛けるアトリエや構造設計事務所が実施設計を作っていると思っていた。しかし実際は生産設計を手掛ける企業や部門が設計と施工の双方の設計図などの情報を調整していることを学んだ。生産設計についてまだ知らないことが多いので、詳しくなろうと思う。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今回の講義を受け、生産設計の仕事や必要性、やりがいなどを知ることができた。施工に必要な詳細図は、私への見ている図面と情報量へ全く違っていて、とても細かくかかれていて驚いた。生産設計者は、アーキテクトとエンジニアの両方を兼ね備えなければならぬのだと分かった。設計図だけで建物を建てることはできないので、施工には施工図が必要であることを知った。情報が多いため大変そうだなと思ったが、それによ、て実際に建物が建つので、やりがいがあると感じた。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|
| まず | 特別 | 講師 | の方 | は | 大学 | に通 | い | 就職 | して | 後 |
| ト | 専門 | 学校 | の | 建築 | 工学 | の | 現 | 在 | の | 生産 |
| 社 | に | 勤 | め | て | い | る | 間 | に | 一 | 般 |
| か | 直 | 接 | の | 事 | 務 | に | 関 | 与 | し | て |
| は | 設計 | と | 施工 | の | 間 | に | 関 | 与 | し | て |
| 家 | の | 強 | さ | と | 品質 | の | 高 | さ | と | は |
| は | 設計 | と | 施工 | の | 間 | に | 関 | 与 | し | て |
| 建 | 物の | 品質 | と | 施工 | の | 間 | に | 関 | 与 | し |
| 計 | の | 間 | に | 関 | 与 | し | て | は | 一 | 般 |
| < | 時間 | を | 費 | す | た | と | 感 | じ | て | |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今日 | の | 講 | 義 | で | 生 | 産 | 計 | 画 | の | 概 |
| 施 | 工 | 回 | の | 印 | 像 | に | 残 | る | た | 。 |
| 存 | の | 色 | の | 違 | い | が | 並 | ぶ | も | の |
| 工 | 色 | が | 決 | ま | る | た | 二 | 三 | が | 確 |
| 手 | ま | り | の | 計 | 画 | に | 力 | が | 加 | わ |
| ハ | 原 | 理 | が | 非 | 常 | に | 大 | き | な | 力 |
| 部 | 止 | 大 | 丈 | 大 | か | と | い | う | 二 | 三 |
| 題 | を | 作 | る | た | 回 | 道 | で | は | 分 | か |
| っ | た | の | で | 、 | 最 | 初 | 的 | な | 形 | で |
| と | 感 | じ | た | 。 | | | | | | |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|---|---|-----|---|----|
| 今回 | は | 施工 | と | 設計 | の | 間 | に | 立 | ち | 、 |
| 進 | め | る | た | め | の | 生 | 産 | 設 | 計 | と |
| べ | た | が | 、 | 建 | 物 | の | 品 | 質 | の | 維持 |
| せ | 全 | い | こ | と | 建 | 設 | コ | ス | ト | を |
| 策 | に | 重 | 要 | な | 役 | 割 | を | お | こ | し |
| 「 | 総 | 合 | 図 | 」 | と | い | う | も | の | を |
| 構 | 造 | ・ | 設 | 備 | を | お | も | と | 重 | ね |
| ち | に | 工 | ラ | ー | を | 抽 | 出 | す | る | と |
| に | も | コ | ス | ト | 的 | に | お | も | と | 感 |
| の | た | め | に | も | や | は | り | BIM | が | 大 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今日 | の | 講 | 義 | で | 生 | 産 | 設 | 計 | の | 建 |
| れ | だ | け | 大 | 切 | な | 二 | 三 | を | 知 | る |
| は | 、 | 最 | 速 | の | 高 | 齢 | 化 | や | 建 | 物 |
| の | た | め | 、 | 生 | 産 | 性 | 向 | 上 | の | 重 |
| 車 | 水 | 始 | ま | る | た | か | ら | 予 | め | の |
| お | も | た | 時 | 間 | 、 | 強 | 度 | を | お | も |
| と | い | く | 必 | 要 | が | あ | る | と | 知 | ら |
| ウ | ッ | ド | テ | ッ | キ | の | 材 | 料 | を | 考 |
| 時 | 、 | う | 二 | 三 | に | お | も | と | 感 | じ |
| を | 考 | え | て | 施 | 工 | を | お | も | と | 感 |

生産設計は設計の成果を二つに分けておいて、二つとも
作業に感じました。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 氏名

月1日の割り付けなど、実施設計では計画された通り、大部分生産設計が行う。図面では色の統一感なども、なるべくバラバラに見えるが実際の現場では職人さんで規制性のあるように見えるように割り付けしていることと学ぶ。ビス頭の色合わせも普段気にしてはいないが、無事に合うように色を調節している。品質の低下や工期の遅延、建設コストが増加する点により、今後内単位で行われるという工事費用がアップダウンを繰り返しているという。

2025年7月26日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 氏名

今日、中村務さんにお話をさせていただき、生産設計と、ウモのの役割を初めて知った。意匠設計は、おの程度の方針を決めていくのに対し、生産設計で作成される図面は実際に作れるように建物がつくられていくので、責任が重くなる。特に、色や材質の指定など、現場でやり取りが非常に多い。高層化が進むと、現場でのやり取りが非常に重要になる。しかし、いくら意匠設計でデザインしても、生産設計のほうに実際に建てる計画が立たないと、建物は出来ないので、これから生産設計の分野も学ぶ必要を感じた。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 氏名

今日の講義を聞いて、生産設計の仕事の内容やどのような立場にあるのかと理解することができた。1cmの圧接で、1トン以上を伝えることができる。というクイズには、とてもおどろいた。中村さんの現在にいたるまでの話を聞いて、初めて建築と違うことをやっていると、意匠の予定が施工になり、現場でいろいろ会社を調べている中で、やりたかったことが、現場でできる。人と多くのことと体験して、いろいろと学ばせてくれた。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 氏名

生産設計は設計と施工の間に入り、詳細図面や仕上げ材などを決めていく重要な役割がある。バニキの色など使っている私達があまり気にしない所まで決めていくことで、全体のまとまりができる。設計と施工で食い違いが起こったとき、中立の立場で話し合いが行える。研修ではすぐに現場に出るのでなく、図面を書き読み取れるようになってから入ることによって、現場で食い違いがあったときに気づくことができる。人材をどう育てるかで、工期が短くしたり、間違えに気づかずに危険を未然に避けることができる。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|-----------------------|
| 生産設計は施工を行ううえ下と7も重要な役 |
| 割を担っていることから分かった。生産設計は |
| 有りと品質の低下や図面を間違えた際のコス |
| トの増加やコストに關する面で損失が出るに |
| とを抑えていることは大変なことであると感 |
| じた。設計者の要望に応え、また設計者の困 |
| 面にトヨ研細に必要事項を指示込むなどの複雑 |
| な仕事を担っていることと知った。生産設計 |
| 者はデザイナーよりエンジニアに近い職業 |
| であると思った。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|-----------------------|
| 建築生産設計の仕事は設計者・施工者とともに |
| にとても重要な仕事だと感じた。建築 |
| 生産設計という仕事があるということを知り |
| て知った。生産設計はかかせない仕事で設計 |
| 者が描いた図面をもとに大々大のものの確認 |
| と修正をしている。生産設計は不足している |
| ものを補足する仕事である。設計図面を見る |
| だけでなく構造図や詳細図など様々な図面を |
| 持ち人と読み解くということがとても責任を |
| 感じつつ、大変な仕事だと思った。 |

2025年9月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|------------------------|
| 生産設計という業務はありこを初めに知っ |
| た。設計と施工の間には立ちはたっており、図面 |
| にはたいさう重要な情報を作り、予算内に納め |
| るために必要な役割だと学んだ。1年の釘を叩 |
| り落すために1.87の力外には驚いた。 |
| 自分は生産設計や施工に行く事はないが、建 |
| 築に関わるとして、知って行くべき分野である |
| と思うし、とても下地になり面白かった。1. |
| 1.11の階段の手すり外工事途中と完成とが |
| たり見下目から異なりすぎた。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|--------------------------|
| 今回の講義を受けた、建築の生産設計という |
| 分野について学ぶことができた。講義の中で |
| 実際の建物や施工現場を見ることができた。 |
| 施工現場の構造や図面を見ることができた。施工現場 |
| を見ることができた。現場では非常に勉強に |
| なった。建物をつくるためには詳細な計画が必要 |
| だと感じた。品質を確保するために必要なことは |
| 現場で学ぶことができた。今後、建築に関わる |
| 身として、生産設計という分野に興味を持 |
| ちたいと思う。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|---|
| 今回の講義では実際に生産設計に携わっている方への話を聞いた。図面だけでなく読み取ることでその意味を正確に補足し、そのコンテキストに合わせた図面を渡すという又またその仕事内容を開くことについて述べた。このように職種の人材不足は建物環境が大きく変わって、そのために現代から増えてきている。おまわり大学では関わりととらえてもらいたい職種だと分けられた。設計者の施工者とも関係が深くなる。このように、コンピュータによる取りこみは、大抵でも改めて知ることができた。 |
|---|

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|---|
| 今回の講義を受け、生産設計の現場について、その業務について知ることで外で学びました。生産設計の重要性として、設計と施工の間に入りこむことで、現場が抱える建物の大型化・複雑化、就業者の減少と高齢化、時間外労働の上限規制などという問題を解決することからなるのだとわかりました。図面には描かなくてもいいことを補足して施工図を描かなくては、生産設計の重要性も理解することから学びました。 |
|---|

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|---|
| 生産設計を行うことで、建物品質の低下や約定工期の遅延、建設コスト増が起る改善が図れることが分かった。生産設計の業務として実施設計と施工図に変えられた。総合図を用いて、初期工率を抽出することが分かった。生産設計の今後として、建物づくりにおいて新たな設計者として期待されていることが分かった。佐野建築システムの人材育成として、まず図面を準備するようになり、新人のキャリアアップを行うことが分かった。総合図にはBIMを利用して、全ての図面の見え方をしていることが分かった。 |
|---|

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|---|
| 私は今回佐野建築システムで設計の現場について聞いて、初めて実際の生産設計の現場の話を聞いた。これまでのイメージでは、設計事務所での仕事は想像をたどって進んでいくものかと思いましたが、図面を描く時に必ずしも施工図を描く必要はないことが分かった。また、設計者として施工者としての役割も知ることができた。 |
|---|

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | |
|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 今日 | の | 講義 | では | 生産 | 設計 | に関 | する | 知識 | も |
| 深 | い | こ | と | か | ま | た | と | 感 | じ |
| も | 生 | 産 | 設 | 計 | の | 制 | 度 | は | 学 |
| 際 | の | 事 | 例 | を | 示 | す | こ | の | 理 |
| り | ま | し | て | ま | た | 生 | 産 | 設 | 計 |
| と | 工 | 二 | 三 | 二 | ア | の | 方 | を | 兼 |
| あ | い | と | あ | り | ま | し | て | か | ら |
| 改 | め | て | 感 | じ | ま | し | た | 。 | 工 |
| か | い | う | ま | く | 設 | 計 | 可 | う | か |
| が | 必 | 要 | で | あ | い | る | こ | の | 点 |
| | | | | | | | | | を |
| | | | | | | | | | 印象 |
| | | | | | | | | | に残 |
| | | | | | | | | | り |
| | | | | | | | | | ま |
| | | | | | | | | | し |
| | | | | | | | | | た |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | |
|---|----|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 建 | 物 | の | 複 | 雑 | 化 | や | 常 | 働 | 時 |
| 産 | 性 | を | 向 | 上 | さ | せ | る | 必 | 要 |
| に | よ | り | 建 | 物 | の | 品 | 質 | 向 | 上 |
| ト | 減 | に | つ | な | が | る | 。施 | 工 | 因 |
| ス | ペ | - | ス | の | 詳 | 細 | 部 | 分 | の |
| る | 。設 | 計 | に | お | け | る | 最 | 後 | の |
| ス | ペ | - | ス | の | 履 | 捕 | や | 施 | 工 |
| 題 | に | お | け | る | 必 | 要 | が | あ | り |
| な | ど | か | 求 | め | ら | れ | る | だ | と |
| に | も | 多 | く | の | 要 | 素 | に | つ | い |
| | | | | | | | | | て |
| | | | | | | | | | 考 |
| | | | | | | | | | え |
| | | | | | | | | | る |
| | | | | | | | | | 必 |
| | | | | | | | | | 要 |
| | | | | | | | | | が |
| | | | | | | | | | あ |
| | | | | | | | | | り |
| | | | | | | | | | や |

1が1かありそうに思った。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|---|----|---|---|
| 生 | 産 | 設 | 計 | 者 | に | つ | い | て | 詳 |
| な | か | ら | た | の | こ | の | 勉 | 強 | に |
| 設 | 計 | 図 | か | ら | 施 | 工 | 図 | を | 見 |
| く | 分 | か | り | ま | し | た | 。具 | 体 | 的 |
| の | キ | 也 | ど | ス | 頭 | ト | イ | レ | な |
| ま | し | た | が | 、生 | 産 | 設 | 計 | 者 | の |
| 重 | 要 | な | 役 | 割 | だ | と | 感 | じ | ま |
| 施 | 工 | 図 | が | か | ま | や | す | い | よ |
| り | 、 | 細 | か | く | か | い | た | り | な |
| し | た | 。 | | | | | | | |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 4 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 回 | の | 講 | 義 | を | 受 | け | て | 、 |
| 取 | 組 | の | 成 | 影 | に | か | ら | 設 | 計 |
| に | お | け | る | 構 | 造 | 設 | 計 | で | あ |
| に | お | け | る | こ | の | バ | ッ | ク | の |
| に | お | け | る | 現 | 場 | に | お | け | る |
| と | 実 | 際 | に | あ | る | 問 | 題 | 、 | 注 |
| か | ら | い | て | 知 | ら | れ | る | こ | の |
| ア | ン | の | 設 | 計 | 者 | の | 育 | 成 | の |
| ア | ン | の | 設 | 計 | の | 任 | 務 | が | 変 |
| 物 | と | 建 | て | い | る | こ | の | 理 | 由 |

2025年 7月25日 (金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 4 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 日 | の | 特 | 別 | 講 | 義 | を | 受 | け | て | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 | と | り | う | 分 |
| 野 | が | 建 | 築 | を | 進 | め | て | い | く | 上 | ご | り | か | に | 大 | 切 | が | を | 学 |
| ぶ | こ | と | が | で | き | た | 。 | 私 | の | 知 | る | 図 | 面 | と | 実 | 際 | に | 現 | 場 |
| で | 使 | っ | て | い | る | 図 | 面 | が | 大 | き | く | 異 | な | り | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 |
| が | 現 | 場 | の | 中 | 心 | と | な | 。 | こ | の | と | 感 | じ | る | ほ | ど | 図 | 面 | の |
| 情 | 報 | 量 | の | 多 | さ | と | 見 | や | す | こ | と | を | 知 | る | こ | と | が | で | き |
| た | 。 | 私 | が | 実 | 際 | に | 現 | 場 | 職 | に | つ | く | と | な | っ | た | 時 | は | 、 |
| 生 | 産 | 設 | 計 | の | 図 | 面 | を | 理 | 解 | で | き | る | よ | う | に | な | る | 必 | 要 |
| が | あ | る | と | 感 | じ | た | の | で | 、 | 最 | 終 | 課 | 題 | で | そ | う | り | 、 | た |
| 教 | 育 | に | つ | い | て | も | 調 | べ | る | べ | さ | だ | と | 感 | じ | た | 。 | | |

2025年 7月25日 (金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 回 | 生 | 産 | 設 | 計 | に | つ | い | て | 初 | め | に | 触 | れ | る | こ | と | が | 出 | |
| 来 | ま | し | た | 。 | 今 | ま | で | 授 | 業 | や | 企 | 業 | と | 人 | と | 来 | て | 頂 | い | |
| く | 機 | 会 | を | 話 | を | 聞 | い | て | い | て | も | 、 | こ | の | 生 | 産 | 設 | 計 | の | |
| 事 | を | 知 | る | こ | と | が | 任 | 務 | が | 、 | 大 | の | の | え | の | よ | う | に | 実 | |
| 技 | 術 | に | 行 | う | こ | と | が | 分 | か | り | 自 | 分 | の | 世 | 界 | が | 広 | が | り | ま |
| し | た | 。 | 自 | 分 | の | 内 | に | は | 、 | 施 | 工 | 企 | 業 | が | こ | の | よ | う | に | な |
| 図 | 面 | も | 行 | っ | て | い | る | と | 思 | い | ま | し | た | が | 、 | 建 | 築 | | | |
| の | 工 | 程 | に | お | い | て | 分 | 業 | 化 | が | 進 | ん | で | お | り | 、 | こ | の | よ | う |
| う | 母 | 会 | 社 | が | 必 | 要 | と | 思 | い | ま | し | た | 。 | こ | の | よ | う | に | 分 | か |
| ま | し | た | 。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2025年 7月25日 (金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 日 | の | 講 | 義 | に | 関 | し | て | 設 | 計 | と | 施 | 工 | の | 間 | を | つ | な | か | な |
| 産 | 設 | 計 | に | つ | い | て | 学 | び | ま | し | た | 。 | 意 | 匠 | 図 | と | 比 | べ | て | |
| 同 | じ | 図 | 面 | の | 中 | に | 建 | 物 | ・ | 電 | 気 | ・ | 設 | 備 | ・ | 衛 | 生 | を | 入 | |
| れ | る | 施 | 工 | 図 | は | 、 | 書 | く | か | と | 読 | み | 取 | る | か | ら | よ | り | 水 | |
| め | ら | 水 | と | 感 | じ | ま | し | た | 。 | ト | イ | レ | の | 事 | 例 | で | 、 | 構 | | |
| 械 | の | ハ | ・ | チ | を | 追 | 加 | し | た | り | 、 | 吊 | り | 鉄 | 骨 | の | 方 | さ | も | |
| り | な | ど | 施 | 工 | 図 | を | 無 | く | 時 | 、 | 実 | 際 | に | 施 | 工 | を | し | て | い | |
| る | 時 | の | ト | ラ | フ | ル | に | つ | い | て | 紹 | 介 | し | て | い | た | か | ら | い | |
| を | 止 | ま | ら | れ | る | 事 | 象 | の | 重 | 要 | 性 | に | つ | い | て | 考 | え | ら | れ | |
| ま | し | た | 。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2025年 7月25日 (金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 日 | の | 特 | 別 | 講 | 義 | に | 関 | し | て | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 | に | 関 | し | て | |
| に | 建 | 築 | 業 | 務 | に | お | い | て | 重 | 要 | な | 立 | ち | 位 | 置 | と | な | っ | て | |
| い | る | こ | と | が | 理 | 解 | で | き | た | 。 | 設 | 計 | 者 | 外 | 作 | 成 | し | た | 設 | |
| 計 | 図 | に | 対 | し | て | 、 | 施 | 工 | 者 | 外 | 作 | 成 | し | た | こ | と | を | 理 | 解 | |
| に | 平 | 面 | 詳 | 細 | 図 | を | と | り | 上 | げ | い | く | こ | と | を | 業 | 務 | 全 | | |
| 体 | が | 円 | 滑 | に | 進 | ん | で | い | く | 上 | る | よ | う | に | 任 | 務 | を | 担 | っ | て |
| い | る | 人 | が | と | 思 | い | ま | し | た | 。 | 今 | 後 | も | よ | り | 知 | 名 | 度 | 外 | |
| で | い | い | か | い | い | と | 思 | っ | て | い | る | 。 | | | | | | | | |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 初 | め | の | 生 | 産 | 設 | 計 | の | 具 | 体 | 的 | な | 業 | 務 | に | つ | い | | | |
| て | 学 | び | ま | す | た | 。今 | ま | は | 2 | 月 | 設 | 計 | 、 | 施 | 工 | 、 | あ | と | は | 算 |
| は | レ | ト | の | レ | 2 | 月 | 学 | ん | で | い | た | が | 、 | 今 | 回 | 新 | た | な | ら | し |
| 事 | と | い | う | か | 、 | 後 | 刻 | が | 出 | て | ま | す | 、 | 建 | 築 | と | い | う | 事 | 業 |
| の | 奥 | 深 | さ | と | 改 | め | の | 感 | じ | た | 。中 | 村 | さ | ん | の | 話 | を | | | |
| 聞 | い | て | ま | す | と | 、 | 任 | 務 | を | す | る | 人 | と | い | う | レ | ア | リ | ア | ル |
| は | ッ | が | バ | リ | と | い | う | か | 、 | ス | ラ | イ | ド | 上 | の | 各 | 役 | 職 | の | |
| 関 | 係 | 因 | ら | な | り | で | 日 | イ | メ | ー | ジ | で | ま | す | レ | ハ | 関 | 係 | 性 | |
| が | 見 | え | る | ま | す | 、 | 自 | 分 | が | 将 | 来 | と | い | う | レ | ハ | 社 | 会 | | |
| で | 生 | ま | す | レ | ハ | カ | 楽 | し | ま | す | レ | ハ | ト | だ | 。 | | | | | |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今 | 回 | の | 講 | 義 | と | 受 | け | て | 、 | 建 | 築 | 業 | 界 | の | 課 | 題 | が | あ | | |
| る | 就 | 業 | 者 | の | 減 | 少 | と | 高 | 齢 | 化 | で | あ | り | 、 | 時 | 間 | 外 | | | |
| 労働 | の | 上 | 限 | 規 | 制 | に | よ | り | 、 | 工 | 働 | が | ま | た | い | 人 | も | 働 | く | |
| こと | が | で | ま | な | い | 世 | の | 中 | に | な | り | 、 | ア | リ | マ | ッ | て | い | る | |
| ため | 、 | い | か | に | 効 | 率 | 低 | く | 生 | 産 | 性 | の | 高 | い | 建 | 物 | を | 限 | | |
| り | ホ | に | 期 | 間 | で | つ | く | る | こ | と | が | 重 | 要 | だ | と | い | う | こ | | |
| と | 知 | り | ま | す | レ | ハ | 。 | | | | | | | | | | | | | |
| こ | れ | が | ま | は | り | 、 | 意 | 匠 | 設 | 計 | に | レ | ハ | 興 | 味 | が | あ | り | ま | す |
| レ | ハ | レ | ハ | 、 | 建 | 物 | を | 設 | 計 | ・ | 施 | 工 | し | て | い | く | 上 | | | |
| の | 専 | 門 | と | な | る | 生 | 産 | 設 | 計 | に | も | 興 | 味 | が | 湧 | き | ま | す | レ | ハ |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 施 | 工 | 管 | 理 | を | 行 | う | が | 不 | コ | の | 社 | 員 | が | 生 | 産 | 設 | 計 |
| を | 行 | う | も | の | た | い | 思 | い | は | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 | の | 専 | 門 |
| 門 | に | 行 | う | 会 | 社 | が | あ | る | こ | と | に | 驚 | い | た | 。私 | は | 精 |
| 若 | 手 | の | 研 | 究 | 室 | に | あ | り | ま | す | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 | の | 専 |
| 門 | 性 | が | あ | る | の | で | 、 | 今 | 回 | の | 講 | 義 | が | い | た | た | い |
| た | り | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 | の | 専 | 門 | 会 | 社 | に | つ | い | て | 調 | べ |
| た | り | 、 | 生 | 産 | 設 | 計 | は | 、 | 机 | 上 | と | 現 | 実 | を | つ | | |
| た | り | 、 | 建 | 築 | に | は | ア | カ | が | あ | り | 重 | 要 | な | も | の | 一 |
| た | り | 、 | 建 | 築 | に | は | ア | カ | が | あ | り | 重 | 要 | な | も | の | 一 |
| た | り | 、 | 建 | 築 | に | は | ア | カ | が | あ | り | 重 | 要 | な | も | の | 一 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|
| 今 | 回 | の | 講 | 義 | で | は | 、 | 在 | 留 | 建 | 築 | シ | ス | テ | ム | デ | ザ | イ | | | |
| ン | の | 方 | 々 | が | 来 | て | く | た | さ | り | 、 | 建 | 築 | 生 | 産 | の | 大 | 切 | | | |
| を | 具 | 体 | 的 | に | 説 | 明 | し | て | く | た | さ | り | ま | す | レ | ハ | 。こ | の | 設 | 計 | |
| の | 図 | 面 | と | 、 | 工 | 事 | が | 行 | わ | れ | 、 | 施 | 工 | 図 | と | の | 差 | 違 | | | |
| い | が | あ | り | 、 | 本 | 来 | 想 | 像 | し | た | 形 | と | は | 違 | う | も | の | 一 | | | |
| 、 | ア | リ | マ | ッ | 、 | 大 | 切 | な | 設 | 計 | の | 大 | 切 | さ | は | も | ち | ろ | と | | |
| 、 | 重 | 要 | な | も | の | 一 | と | な | り | 、 | 見 | る | こ | と | が | あ | り | 、 | 施 | 工 | 図 |
| が | あ | り | 、 | 現 | 場 | で | の | 大 | 切 | な | こ | と | が | あ | り | 、 | こ | の | 設 | 計 | |
| た | 。今 | 回 | に | 限 | り | ま | す | レ | ハ | 、 | 様 | 々 | な | 建 | 築 | の | 業 | 界 | | | |
| が | あ | る | こ | と | に | よ | り | 、 | 視 | 野 | を | 広 | げ | て | い | く | こ | の | | | |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|-------------------------|
| 今回の講義では、生産設計について学び |
| とができました。生産設計とは、意匠設計と施工 |
| の間、の位置にあるもので、両方のスキルが必 |
| 要であることが分かった。生産設計という仕 |
| 事は安全を担保したり、施工員といった難 |
| しい図面を書いたり大変でやりがいのある |
| 仕事だと感じました。今回の講義を通して、生産 |
| 設計という仕事を知られてよかったです。生産設計 |
| は、あまり認知度は高くはないけど、とても重 |
| 要な仕事であると思った。将来、施工に准 |
| 自らにと、このこともためになる話だった。 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|---|
| 今回の話を印象に残ったのは、実際の経験 |
| 談の話で、特に今更には、てしま、た、えう |
| が、し、工、工、工の話で、途中、吊り材の、を |
| 見落としていたという、紅土が、欠けた、てしま、 |
| て、ミスがあ、下、えう、た、しかし、建築家 |
| の、山、筑、子、さんが、イ、シ、の、表、記、の、も、の、を、つ、け |
| て、最、初、か、ら、て、ク、リ、ク、の、が、あ、つ、た、ま、う、に、し、た、ま |
| う、た、この話から、一つのミスで、建、物、に、影、響 |
| を、与、え、て、し、ま、う、こ、れ、が、実、感、し、た、ま、た、と、て |
| も、建、築、家、と、密、な、関、係、を、あ、る、の、だ、と、話、を、聞、い、て |

分、た、ま、た、こ、の、コ、ス、ト、に、関、する、大、切、な、関、係、と、分、か、た、

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|--|
| 今回の講義を受けて、生産における生産設 |
| 計という分野について多く知ることがありま |
| した。特に、コンクリート躯体図や平面詳細 |
| 図と生産設計の分野で行われていくこと、一 |
| 歩、興味が増えた。コンクリート躯体図や |
| 階段、柱などの詳細図の構造設計を行うと |
| 考え、これを二つに分けて、それぞれ詳細圖 |
| の、設、備、設、計、で、知、う、と、考、え、ま、し、た、か、ら、で、可、設 |
| 計、と、施、工、の、間、に、在、置、可、る、設、計、の、ま、と、め、役、の、 |
| う、の、役、割、が、生、産、設、計、で、あ、る、こ、と、と、そ、の、業、務 |

内、容、の、一、部、が、今、回、の、分、野、に、関、して、有、意、識、に、過、ぎ、て、い、た、こ、と、を、

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

| |
|---|
| これまで、生産設計という職能について存ま |
| り詳しく知らなかったが、今回の講義ではこ |
| の職の重要性やおもしろさについて知ること |
| ができた。特に、「アーキテクト」と「エン |
| ジニア」のどちらの要素を必要とするこ |
| うに、この仕事の難しさやおもしろさがある |
| の、は、な、い、か、と、感、じ、た、設、計、と、施、工、の、「、つ、ま |
| ぎ、役、」、を、は、な、く、一、つ、の、大、き、な、立、場、と、し、て、建 |
| 築、の、重、大、な、役、割、を、果、た、し、て、い、る、と、い、う、こ、と、を |
| 理、解、し、た、 |

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産1 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

私は今回の授業を通して生産設計について学びました。中村先生の授業は、設計と施工の両面から、現場の状況に即して、著者設計を学ぶことができました。先日の施工図の復習から、その重要性が、下の図に示すように、施工図の作成に不可欠な役割を担っていることがわかりました。このように、設計と施工の両面から学ぶことが、今後の学習に大きく役立つと思います。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

貴匠園・施工図とあり、今回、講義として下さった中村先生の建築設計という部門に大変興味を持っており、主に施工図を扱う、手掛りをお任せできると理解した。施工業務に就きたい私として、今回の中村先生の講義は、興味深く、大変ためになる授業であると感じた。生産設計の業務で扱う施工図について、学生のうちに関わることが少なく、就職を経験してから人材育成という形で関わることのことが、面白く、思い、たのび是非学んでみたいと感じた。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今回の講義では、中村先生から生産設計の分野について詳しく頂戴しました。今、自分たちが就職の時期であることもあり、設計の現場での経験は、とても貴重な知識を得ることができました。また、先生の話から、現場での経験が、今後の学習に大きく役立つことがわかりました。このように、設計と施工の両面から学ぶことが、今後の学習に大きく役立つと思います。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産工 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今回の講義を聞いて、生産設計は大きな仕事でなく、施工部門が詳細図を書くのが中心で、現場では、今までは、施工部門の会社が独立して行っていたのを、初めて知りました。また、貴匠園では、現場での経験が、とても貴重な知識を得ることができました。また、先生の話から、現場での経験が、今後の学習に大きく役立つことがわかりました。このように、設計と施工の両面から学ぶことが、今後の学習に大きく役立つと思います。

2025年 7月 25日 (金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

Handwritten notes in a grid format for the student with year 3 and subject 建築生産.

2025年 7月 25日 (金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

Handwritten notes in a grid format for the student with year 3 and subject 建築生産.

2025年 7月 25日 (金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 4 学籍番号 _____ 氏名 _____

Handwritten notes in a grid format for the student with year 4 and subject 建築生産.

2025年 7月 25日 (金) 科目名 建築生産I (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

Handwritten notes in a grid format for the student with year 3 and subject 建築生産I.

Additional handwritten notes below the table for the student with year 3 and subject 建築生産I.

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

順天堂大学東京江東医療センターが僕が小学
生の頃に工事をしていた。社会科見学が何か
の中に入ったことがあり、当時の僕にはとて
もすごい建築物であった。また大江戸高校は
中学のとき、部活の練習で入ったことがあり
正門から入った。その校舎の開放感には感
動した。法規などは設計者に全て任せるのは
よく、施工管理を知らずして、二人の関
係にヒビが入らないうちに安全に進行
させたため、必須であると感じました。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今日、外部の方の話聞いて、私は意匠の
道を考えているが、意匠設計の図面と構造を
考えてつくり上げた図面を見てとても重要な
役割を担っていると思った。また、ガラスで
できた手すりを見せてもらい、一見問題ない
ように見えるが、根元の部分のモーメントの
計算ができていないと聞き、それだけで仕な
く他のことをすべて確認し、実際に建てるこ
とがどんなに大変なことを学ぶことができた。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

建築生産の会長が作った最後の建物のように
色々な問題が起ることをわかった。また、
完成してもう二年ほどが経ち、こまら
んことを知ると悲しくなった。自分
も将来施工管理職につきたいと思、こ
の施工管理職にはどんな能力が必要で
人々を喜ばせ達成感を感じることが
できるのか。内務工回にはあまり学
びたい。自分で経験して仕事が始ま
るまでに努力しようと思、た。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 3 学籍番号 _____ 氏名 _____

今日の講義では主に建築生産設計の話であ
たり実際の施工図を見たりして、設計課題で
つくるような意匠図とは異なる情報量が多
かった。現場で変異が出た際の話しを聞
いておもしろかった。施工図は建築生産
と意匠と構造があり、設備などの要素が
組み込まれていてそれらの関係性であ
りて担保するために多くの知識と経験が
求められると感じた。今日の講義で
建築生産の重要性を知ることができた。

2025年7月25日(金) 科目名 建築生産 (浦江)

学年 4 学籍番号 _____ 氏名 _____

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現場 | で | 起 | ま | る | 大 | 工 | 事 | は | 又 | 上 | り | 場 | で | 対 | 応 | し | 付 | | |
| ま | や | い | H | 付 | い | れ | い | う | こ | は | 、 | こ | も | 面 | 倒 | し | る | | |
| 在 | H | に | か | か | ゆ | り | こ | り | 付 | い | 第 | 三 | 者 | 目 | 録 | を | と | | |
| れ | こ | も | お | お | し | る | を | ら | 付 | こ | 思 | 、 | 在 | 。 | ア | サ | イ | フ | |
| 一 | ス | コ | ン | シ | ヨ | ン | ヤ | 、 | 設 | 計 | 者 | の | こ | ゆ | り | が | 相 | か | |
| い | 障 | 物 | な | り | 、 | 設 | 計 | 者 | の | 指 | 導 | が | こ | も | 細 | か | く | こ | |
| 面 | 倒 | し | る | 付 | の | こ | 、 | 総 | 対 | を | や | り | 在 | く | 付 | い | 付 | こ | 思 |
| っ | 在 | 。 | ま | 在 | 。 | 中 | 村 | 工 | 人 | の | 経 | 歴 | 工 | 具 | 工 | 、 | い | く | う |
| か | ら | こ | も | や | り | 在 | い | こ | こ | は | こ | も | し | 、 | 楽 | し | い | 人 | |
| 生 | 活 | 夢 | 也 | と | う | な | 付 | こ | 思 | 、 | 在 | 。 | | | | | | | |